

○視覚的支援の工夫

- ・漢字学習に困難さを感じている児童への支援

【なぜこの支援が有効になるのか】

漢字の形や筆順を覚えることが難しい児童がいます。こういった児童は、線と線の交わりを理解し、線や形ごとに分解して認識することや、分解した線や形を再構成することが苦手です。

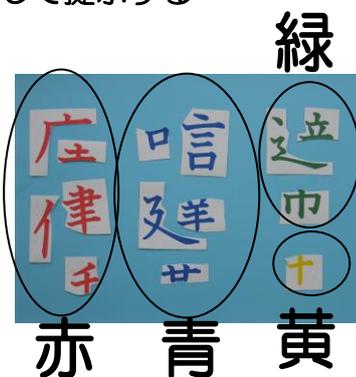
漢字の部分を色分けして提示したり、筆順を色分けして大きく書いたりすることで、全体の中の部分に着目することや筆順に意識を向けることがしやすくなります。

〈支援・指導の実践例〉

1. 漢字の部分を色分けして提示する

- ①漢字を形ごとに認識

できるように、部分を色分けし、切り分けて提示する。

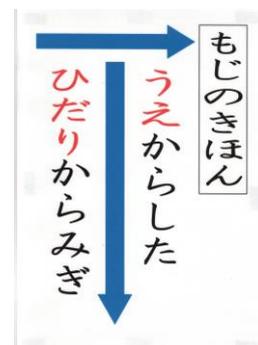


- ②部分を組み合わせて漢字を再構成させる。



2. 基本的な方向性を示しておく

自分自身の基準軸が曖昧で、空間の中での方向性をとらえることが難しいために書き順や書く方向が不適切になっている場合がある。そこで、基本的な方向性を言葉だけではなく、矢印も入れて示し、文字を書くときにはいつも目に入るようにしておく。



3. 書き順を色分けして大きく書く

文字を見て覚えるだけでなく、字を書くときの腕や手からの動きを覚えられるように、大きくなぞり書きをできるシートを用意し、一画ずつ色を変えて、クレパスや色鉛筆などでなぞり書きをする。

かきじゅんのいろ

- | | | |
|-----|-----|------|
| 1 → | 赤 | あか |
| 2 → | 青 | あお |
| 3 → | 緑 | みどり |
| 4 → | 黄 | きいろ |
| 5 → | 黒 | くろ |
| 6 → | 紫 | むらさき |
| 7 → | 茶 | ちゃいろ |
| 8 → | ピンク | ピンク |

